

銚田市商工会青年部会報



Enjoy 青年部 (微 明)

No.43 令和4年度版

発行日 令和5年3月31日
編集 銚田市商工会青年部
広報委員会
発行者 銚田市商工会青年部
部長 山口崇徳
銚田市 銚田 2482-1
TEL 0291-32-2246

Contents(目次)

- P1. 市長懇談会
鹿行地区商工会青年部連絡協議会SDGs事業
発刊にあたり
- P2. 銚田にぎわい祭り・VR
- P3. イルミネーション
全国大会に参加して
事業再構築補助金と私の向かい方
- P4. 卒業生・新入部員・編集後記



『潤沼の朝焼け』撮影 (株)つくし映像



『市長懇談会』

鹿行地区商工会青年部連絡協議会SDGs事業



世界中で問題になっている貧困問題。開発途上国だけではなく、私たちの暮らす日本においても貧困問題は近年非常に深刻な問題となっている事を存じでしょうか？それはここ銚田市でも例外ではありません。

鹿行地区商工会青年部連絡協議会の事業でもある、SDGsの事業。僕たち銚田市商工会青年部でも、SDGsの目標である「貧困をなくそう、あらゆる場所で、あらゆる形態の貧困に終止符を打つ」に習い、ボランティア事業を推進する事になりました。

とはいえ、自分達に出来る事は果たして何が出来るのだろうか？。みんなで幾度となく話し合いをしているうちに、全国社会福祉協議会、地域に密着した福祉活動をしている社会福祉団体が、銚田市社会福祉協議会の方々とお話を聞く事ができました。(以下社協にて失礼いたします。)

全国の社協で行っている主な事業として、具体的な活動内容は、地域の特性に応じて異なり、多岐にわたり沢山あるのですが、たとえば、各種の福祉サービスや相談活動、ボランティアや市民活動の支援、赤い羽根の共同募金運動の協力など様々な場面で地域の福祉増進に取り組んで



いるそうです。素直に素晴らしいと思いました。

銚田市の社協でも、新型コロナウイルスの影響で生活が困窮している世帯に食料品などを詰めた「かけはしボックス」を配布する「やさしさのかけはしプロジェクト」(現在は、終了しています)を行っていることを知り、まさに僕らの思いと求めている人の「かけはし」になる、自分たちに出来る事はこれだと確信しました。部員の皆さんや外部の方々からの支援をいただき、これまでに数回、社協に食料品、日用雑貨等の寄付をさせていただきましたことができました。本当にありがとうございます。感謝申し上げます。

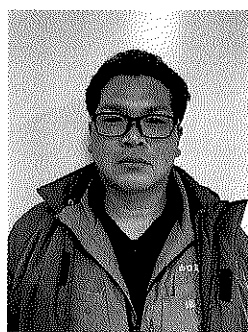
冒頭でもSDGsのお話をしましたが、難しいことは忘れ、まずは家族や自分の周りの大切な人に、今できる事は何か？を考え、点滴穿石の気持ちで取り組むこと。されこそがまさに「サステナブル(持続可能な社会)に繋がるのではないのでしょうか。ご協力いただきました。

銚田市

明尾秀明様 井川亮助様
江沼順一様 山口和好様
渡辺 哲様 渡辺 亮様
茨城町
野口ライス様

ありがとうございました。

まずは、親会長を始め、会員の皆様、日頃より青年部活動にご理解ご協力頂き誠にありがとうございます。そして、各事業を共に考え形にしてくれた、局長始め事務局の皆様、時には、基本を教えてください、時には夢を一緒に語り、そして実現に向けて調整して頂く良き相手として、青年部を代表しまして感謝の気持ちでいっぱい입니다。また、市役所始め各所団体の皆様、これまで同様各事業を共に開催できた事を心より御礼申し上げます。最後に青年部員の皆、思い付きで行動する私をしっかりとサポート頂き、ありがとうございます。そして、広報委員会の皆、微明発刊の為の作業、お疲れ様でした。そして、ありがとうございます。私の任期も終わろうとしていますが、コロナ禍の中で何をすればいいのか、何が出来るのか、何をしなければならぬのか、毎日考えながら二年間が過ぎました。思うように出来ないことはありましたが、部員の皆とリモート会議や、少人数での会議を重ね沢山の思い出深い事業を行う事が出来ました。それは各担当の事業



発刊にあたり

部長 山口崇徳

紹介を見て頂き、会員の皆様に、青年部のパワーを感じ取って頂ければと思います。数ある事業の一つである、部員増強。部員全員で協力し、新入部員勧誘を行い、県では一位、そして全国二位という名誉ある賞を頂きました。しかし、ただ人数を増やせば良いという訳ではありません。今年度は、コロナ禍のため中々集まる事が出来ず、親睦を図ることが出来ない事が、凄く悔しい気持ちでいっぱい입니다。来年度は、コロナも収まり、以前の様に沢山の部員達と活動出来る事を祈るばかりです。青年部に入ると、知り合いが増え、共に活動をしていく中で、仲間が出来ます。その仲間が新たな仲間を繋げてくれます。いつの間にか和となり、縁となります。活動を通して、経営者同士でしか出来ない相談が出来ます。事実私も、入部当時は、知らないばかりで、行きたくないと思っていました。しかし当時の部長が、熱心に活動へ誘ってくれたおかげで、参加する度に、楽しくなっていました。確かに、仕事は一番大事です。実際、現部員の中にも、中々仕事を抜けられない方もいます。しかし一年間のうちの一、二日、また一日のうちの一時間や三十分を活動に向けて頂ければ、少しでも勉強になります。成長につながります。何でも言い切れるのか？それは私がそうだったからです。ですので、青年部該当者がお知り合いにもしあれば、ご紹介ください。最後になりますが、この二年間最高の仲間達と、最高の環境の中で、部長をさせて頂き、本当に感謝しかありません。ありがとうございます。

鉾田にぎわい祭り

中城 光広

昨今のコロナ禍の影響で休止していた鉾田市商工会青年部の事業である『鉾田にぎわい祭り』を三年ぶりに今年度開催しました。私は今回開催した『鉾田にぎわい祭り』の実行委員長を務めさせていだきましました。



今回開催にあたりご協力下さいました鉾田市商工会青年部の部員の皆様はじめ非常に多くの方にご協力頂き、開催することができました。これもご協力して下さいました皆様方のご支援とご愛顧によるものと、心から感謝しております。誠にありがとうございます。また不慣れなことでも思いますが、多々ございましたこと心よりお詫び申し上げます。

今回の『鉾田にぎわい祭り』はコロナ禍の影響もあり例年行っている大規模な歩行者天国でのイベントではなく、来場者数を制限しつつ地域の子供達に存分に遊んでもらうコンセプトの下、計画が練られていきました。まず私たち実行委員会では決めなければならぬことは開催する会場でした。当初は『鹿島灘海浜公園』や『ぼつとパーク鉾田』等の、

休日地元の子どもたちが遊びに来る公園での開催を予定していました。やはり集客数を制限するといえ、イベント開催実績があり、ある程度の集客が見込める会場を私たちは選択しました。会場がほぼほぼ決まろうとした中、青年部長の山口部長が一つの案を出しました。

「会場は鉾田地区、旭地区、大洋地区にしないか？」

私たちは鉾田市商工会青年部は元々鉾田町、旭村、大洋村の合併により三つあった商工会が一つに合併した歴史がある商工会の青年部ですが、合併してからはイベント等の様々な事業は旧鉾田地区で開催しており、旭地区、大洋地区で開催することはありませんでした。この複数開催で普段は事業を行わない地区の子供たちが気軽にきて遊んでもらおうという趣旨の提案でした。素晴らしい提案でしたが、やはり開催した前例のない場所でしたので会場にしてよいものなのか悩みました。私を含め多くの部員は集客できるのか？採算が合うのか？と不安で仕方のなかったことを今でも思い出します。しかしながらこの『鉾田にぎわい祭り』は、かつて初めて企画した先輩方が普段、我々のお店を利



用してくれる地域の人や子供達に恩返しをしたいとの思いで始まったイベント。部長や様々な部員と何度も協議し大洋地区や旭地区でも恩返しをしたいと皆が思い私や実行委員会の判断で開催場所を三ヶ所に決定しました。

開催場所が決まりイベントの催し物を決めていきました。

一つ目は商工会青年部が開催するイベントに必ず登場するエアー遊具。ふわふわです。例年は小さい子供たちがふわふわの中に入り飛び跳ねたりする遊具でしたが今回は小さい子供や中高生でも遊べるようにと高さ十メートル以上ある大型の滑り台型のふわふわを使用しました。



二つ目はバーチャルリアリティ「VR」を利用した鉾田市上空の疑似遊覧体験です。鉾田市のPRも兼ねこちらの催し物を企画しました。

三つ目は小さい子供達が喜んでもらえるよう簡単な輪投げや、風船のプレゼントをしました。最後に鉾田市のB級グルメを開発。こちらは鉾田市の豚ハラミを使った焼きそば。ハラミ焼きそばを開発しました。これらすべて、青年部の中で案を出し合い決めていきました。会議を重ねいよいよ、一回目のイベントが開催されました。一回目は鉾田市総合運動公園で茨城のアメフトチームである茨城セイバーズのイベントに参加する



形で開催されました。初めての開催だった為、試行錯誤で運営をしました。来場する人たちの反応は良好でとても嬉しいかぎりでした。

あつという間に一回目のイベントが終了。二回目、三回目と順調に開催されました。三回目の大洋地区での開催は天候に恵まれ途中で中断になりましたが、多くの地域の方々が笑顔で来場してくださいました。

今回、イベントでの売り上げの一部を鉾田市社会福祉協議会へ寄付する取り組みを行いました。この寄付により私達が地域の方を喜ばすだけでなく寄付という形で社会貢献できたことはとても誇りに感じました。

今回、実行委員長を部長より任命された当初は本当に不安でした。私は特質したアイデアも出せず、また人をまとめるということができる正確ではないので今までのような『鉾田にぎわい祭り』にはならないかと思っていました。そんな私に多くの部員や事務局の方がアイデアをくれ準備等で協力してもらい歴代の実行委員長の先輩よりもずっとすばらしい『鉾田にぎわい祭り』を開催することができました。不安だった実行委員長の

務めも今では、やってよかったと心より思えるようになり、自分自身への大きな自信へと繋がりました。次また誰かがこの『鉾田にぎわい祭り』の実行委員長を務めると思いますが、その時は私も全力で協力し青年部の仲間や地域の方々へ恩返しをしていきたいと思っています。

「VR」

鉾田市内で動画編集業を営んでいます。株式会社つくし映像、代表取締役の内館と申します。この度、光栄なことに鉾田の街のPRとなる『鉾田SKY VR』の制作をさせて頂きました。

今回のVR動画制作にあたって、鉾田の街の素晴らしい景色を皆様に空から見ていただくという趣旨のもと、商工会の方たちと色々模索して制作しました。普段、慣れている街並みでも空から見ると一変、別の街並みのように見えるのが空撮の素晴らしいところ。僕がこのVRを体験してもらった人たちに魅せられて見せたい風景です。鉾田の良さを映像にするにあたって地元の伝統のある場所、映える場所、地域に愛されている場所など色々候補が出た中、全ての候補を映像にしたい気持ちを抑え制作チームで厳選させていただきました。撮影日は天候にも恵まれて晴天の中、素晴らしい鉾田の街から海、湖、神社や施設などの風景が撮れました。撮影に使ったDJI AGRAS T10は産業用ドローンで普段は農業などを散布するのに使うドローンです。通常十キロほどの薬剤などを積んで飛行できる機体でドローンの中で

も大型の部類に入るドローンで撮影をしました。飛行中、撮影場所に行った方には大型のドローンが飛行しているのでも珍しがられました。さすがは鉾田。皆さんは動画の趣旨を話すとすごく協力的でとても素晴らしい住民性が垣間見れました。撮影も地域の方たちのご協力のもと、順調に進みました。撮影も無事に終わり、後は編集者としての腕の見せ所！撮影した風景の素材をもとにCGなども駆使して『鉾田SKY VR』を仕上げていきます。

普通の動画編集とは違い、VR動画は360度の動画を編集しないといけないのでデータ量も多く、皆さんに馴染みがある4K以上の5Kのデータで編集しないといけません。そうすると並大抵のPCでは処理が出来なく、当社自慢のモンスターPCが本領を発揮してくれました。5KのデータにCGなど入れてアニメーションも入れるという、とても莫大なデータ量を途方もない作業を得て今回の『鉾田SKY VR』を作り上げました。そして、制作が終わった段階で視聴することになるのですが、VRの動画は視点、アニメーションの動き、CGの動きなど、それぞれを調整しないといけません。そうやって微々たる調整ですが、色々な方たちにVR体験をしていただき、光の明暗と音量の大きさも兼ねて微調整すること、撮影から完成までに二ヶ月と約半月の制作期間を費やし『鉾田SKY VR』は完成しました。完成した後も、『にぎわい祭り』の一回目（二〇二二年度は三回開催）で披露をし、初の運

営で様々な問題が起きました。ですが、さすが鉾田市商工会青年部の皆さん。発起した問題を皆の力で打開し解決に結びつけました。その結果、無事二回目の『にぎわい祭り』では問題なく運用できました。三回目の『にぎわい祭り』では運用も手馴れ、とてもスムーズに『鉾田SKY VR』を運用できました。

今回の『鉾田SKY VR』の制作を終えて感じたことは、まず今回の事業のメインとして携わったことは、とても苦なことの上、僕自身すごく良い経験になりました。その経験の上で『鉾田SKY VR』を体験していただいた方たちから嬉しいお言葉をいただいたり、沢山の笑顔に触れ合えたことがこの上ない最高の思い出となりました。本当に今回の事業に携われて個人としても制作者としても感無量です。

是非、またこの様な機会がありましたら地域のため、ご依頼者様のため、魅せる、見せる、感動させる動画を作らせていただきたいと思います。最後のとなりましたが、この素晴らしい鉾田の魅力が日本中に、世界に伝わるように日々邁進して活動させていただきます。

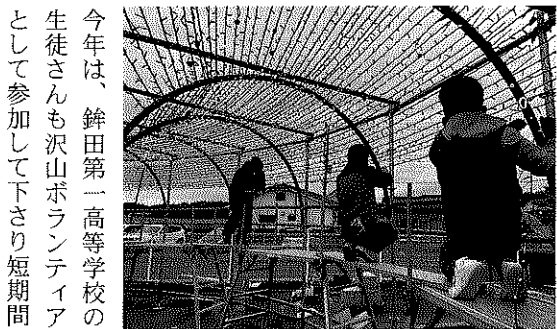


今、私達を取り巻く環境は大きく変化してきております。新型コロナウイルスの発生から三年がたち、新しい生活様式が定着しつつある中、世界ではロシアのウクライナ侵攻が始まり、日本国内では、円安が進んだことによる値上げラッシュで日本経済は不安定な状態が続いています。外国からの入国が規制緩和され日本国内でのインバウンドは徐々に回復に向かうと思われませんが、日本はまだ逆行のなかにあります。

私達、商工会青年部は、この様な時代を早く終わらせ、世界の人々が自由と平和を手にする新時代が訪れる事を願います。「平和」をテーマにイルミネーション事業を実施致しました。平和と人々の重なり協調を連想させる「虹」と日本の美しさと温かな春を象徴する「桜」をイルミネーションで表しました。



イルミネーション 「平和の祈り」 ～鉾田の夜空に虹をかけて～



鉾田市商工会青年部は、二〇二二年度は新入部員が多数入会しましたが、各自の仕事上の都合等で、なかなか全員の顔を把握出来ずにいたため、この事業をきっかけに部員同士の親睦を深めることが出来ればと思い、全員参加を目標に企画しました。各委員会の委員長、副部長のご協力もあり事前に参加者リストを提出頂く事により作業工程がより具体的、効率的にできました。結果的には全員参加には至りませんでした。多くの新入部員の参加に繋がりました。

今年、鉾田第一高等学校の生徒さんも沢山ボランティアとして参加して下さい短期間

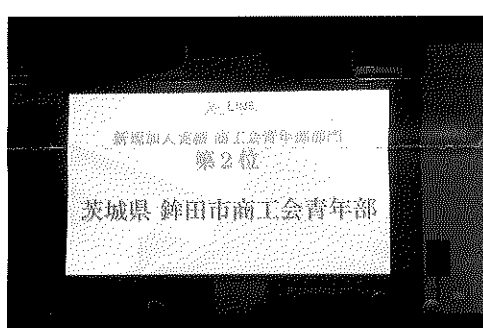
の完成に至りました。部員達、事務局の方々の負担も大きく軽減出来たと思います。今回の事業は、青年部×事務局×ボランティアⅡ地域の絆」という答えが導き出す事が出来た。ひとり一人の平和への願いが、ひとつひとつのLEDに込められた事業になりました。また青年部の事業にご理解を頂きました。鉾田第一高等学校の校長先生を始め、ご引率くださりました先生方にご感謝申し上げます。



全国大会に参加して 久保純子

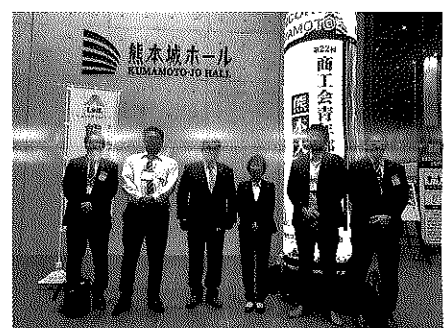
最後にすべての人々に桜咲くことをお祈り申し上げます。

では、熊本城おもてなし武將隊の皆さんが盛大に盛り上げて下さいました。



鉾田市商工会青年部も今年で五十九年目を迎えるようになっています。今後も先輩方の伝統を継承し、鉾田市の地域活性化等の為に協力して新しい事にチャレンジし続けていく為にこれからも精進して参ります。

我々、鉾田市商工会青年部は、新規加入実績の商工会青年部部門において、なんと全国二位に選ばれました！鹿行地区を含めて茨城県内の青年部の名前が三位以内の表彰で六回も呼ばれたのがとても誇らしく思いました。貴重な大会に参加させて頂いた山口部長に期待以上の経験をさせて頂き、大変感謝しております。



では、熊本城おもてなし武將隊の皆さんが盛大に盛り上げて下さいました。

私が入部した平成二十五年の事業継承セミナーで、兵庫県の淡路島から講師として来て頂いた青年部の先輩である立石先輩の一言に衝撃を受けました。初めて聞いた「TTP」という言葉、私は深く納得したので覚えておきます。それ以来活動の中で、経営者ではあるが、同業種や、異業種の部員皆と、仕事の悩みを相談しながら、TTPを意識し過ぎていくようになりました。六年位前、部員の何人かが、補助金とか、助成金とか、新たな単語を発するようになりました。補助金とは、内容で分けると色々あるが簡単に言うと、事業で欲しい機会や設備を購入する事が出来ず困っている事業所を、国が費用の一部を負担し、事業の売り上げを税金として返して下さいます。という認識です。

最初は、建築業には中々当てはまらない事が多い等、言われていたので、そこまで真剣には考えてはいなかったです。でもいつかは、国や県の補助金等を活用し、自分の事業にも、プラスに出来れば良いなと思っていました。そんな時転機が訪れました。事業再構築という補助金の中で新分野展開枠と言う制度があり、私がかねてから欲しい機械が、当てはまるかもしれない。商工会の事務局や、今まで補助金等に挑戦していた部員に、自分の事業の思いを伝え、補助事業として成り立つか相談しました。一筋縄ではいかず、色々な角度から考え、自分が行いたい事業と、補助

金制度の中身を照らし合わせ、事務局に幾度となく相談しました。心が折れそうになった時は、補助金に挑戦し、見事獲得した、経験者へ相談しました。その時言われた一言が今でも忘れられません。国の予算の一部を頂いて、自分の仕事に向けるのだから、そんなに簡単に受かると思うなよ。この言葉が一番胸に刺さりました。それからというもの、甘い気持ちを切り替えました。結果だけ言うと、皆の協力そして、最後まであきらめず支えてくれた事務局のおかげで無事採択頂きました。あの時の気持ちの高鳴りは今でも忘れません。今から色々な困難があるでしょう。しかし、自分の予算だけでは実行出来ない事が、補助

金や助成金を使い、形にしていけるのは、非常に有り難い制度です。補助金等を活用し、自分の事業所、従業員の安定的な雇用は勿論、その家族たちも、安心できる環境を作ることが、私達経営者の責任だと思っています。

最後になりましたが、補助金等の制度を国会で作って頂いております。商工会代表の国会議員の先輩の皆様、わかりやすく説明や相談に乗ってくださる各単会事務局の皆様のおかげです。今の私達が制度を活用し、自己の利益だけでなく地域に還元出来るように、これからもよろしく願います。因みにTTPと言うのは、儲かっている事業所を見て「徹底的にバク」という意味です。



今年もやりました

“絆”感謝運動

事業再構築補助金と私の向かい方

山口 崇徳

金や助成金を使い、形にしていけるのは、非常に有り難い制度です。補助金等を活用し、自分の事業所、従業員の安定的な雇用は勿論、その家族たちも、安心できる環境を作ることが、私達経営者の責任だと思っています。

最後になりましたが、補助金等の制度を国会で作って頂いております。商工会代表の国会議員の先輩の皆様、わかりやすく説明や相談に乗ってくださる各単会事務局の皆様のおかげです。今の私達が制度を活用し、自己の利益だけでなく地域に還元出来るように、これからもよろしく願います。因みにTTPと言うのは、儲かっている事業所を見て「徹底的にバク」という意味です。

卒業

おめでとうございます

祝

(株)長峰商店

長 峰 雄 一

祝

たか美

高 崎 悦 夫

祝

(株)内山建設

内 山 靖 則

祝

佐伯建設

佐 伯 武

新 入 部 員 紹 介



花工房 絢

久 米 絢 子



ALINマネジメント

菅 谷 寿 昭



ケンチクシノハラ

篠 原 翔 太



片岡工業

片 岡 翔 平



(株) TOP.J-Works

平 沼 丈 二

その中でも一番印象に残っているのは、十一月に行った鹿行キッズサッカー開催です。銚田市青年部の代表実行委員として鹿行地区の会議に参加して鹿行地区青年部の方々と六月から毎月一回会議を行いました。まずは各鹿行地域の青年部実行委員の方々と挨拶から始まり、そこからビジネスと一緒にSWIHのように開催に向けて、一つ一つやることを決めていきました。子供たちがどうしたら

か、全く分からず不安でしたが、少しずつでも覚えていくように、出来る限りの行事には参加していきましました。ゴルフ大会、清掃活動、鹿行キッズサッカー開催、にぎわい祭り、イルミネーション設置等の行事があり、たくさんの方々の活動を行っているのを知りました。

青年部が何をしているのか、全く分からず不安でしたが、少しずつでも覚えていくように、出来る限りの行事には参加していきましました。ゴルフ大会、清掃活動、鹿行キッズサッカー開催、にぎわい祭り、イルミネーション設置等の行事があり、たくさんの方々の活動を行っているのを知りました。



菅谷 寿昭

新入部員の声

喜んでくれるだろうか？このキッズサッカーに参加できて良かったと思ってもらえるような仕組みにしようと、夜遅くまで意見交換し実行委員全員で頭を抱えた日もありました。結果的には、無事にケガもなく、子供たちにも喜んでもらえるようなキッズサッカーを開催出来たことを嬉しく思います。

そこから、鹿行地域の青年部の方々と交流を深めることができ、同業者はもちろん、異業種の方々とも意見交換でき、自分の成長につながりました。少しではありますが、自分もアドバイスをさせて頂き、部員の皆様のお手伝いやこれから一緒に新しい取り組みが出来たらいいなと思っています。

正直、銚田市に生まれて三十七年がたちますが、青年部がこんなにも熱い情熱をもつて、たくさんの方々の活動や事業を行っている事を知らず銚田市民として恥ずかしいです。しかし、今は、自分の仕事を行いながら銚田市青年部の一員として、精一杯活動をしていきたいと思っています。

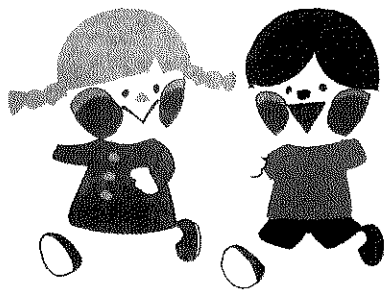
求む!!

新 入 部 員

私達と青年部活動をしてみませんか



銚田市商工会青年部



びめい（微明）とは

引き締めようと思うなら、しばらく拡張させておくに限る。弱めようと思うなら、しばらく与えておくに限る。この道理を知る事を「微明」という。柔弱は剛強に勝つものなのである。

(老子より)

(広報委員長 佐竹)

編集後記

今年度も微明を無事に発行することができ、嬉しく思います。ご協力いただきました事務局、部員の皆様、ありがとうございました。

今回もコロナ禍により、対面での会議は多くはできませんでしたが、ウェブを活用しながら完成させることができました。

マスク着用ルールが緩和され、マスクを外す方向に進んできたように思います。次の微明を発刊する頃には、行った事業が多すぎて書ききれないような状況であることを願っています。